

中央大学キャリアセンターの キャリア形成支援における取り組み



中央大学 キャリアセンター
部長 丸太 初太郎



はじめに

本学では、キャリア教育を推進させるために各学部教授会から選出された教員からなるキャリア教育委員会を設置し、全学的横断的にキャリア教育を検討してきている。

「キャリア」とは、一般的には、単に資格や経歴、職業経験等を意味しているが、広義では、生涯を通じて豊かな人生を築いていくために不可欠な「生き生きとした自分らしい生き方」を意味している。これが本学キャリア教育委員会が定義する「キャリア」である。

具体的には、学生が充実した学修・学生生活を送る中で、自己の将来を見通した自分らしい生き方(Career)を見つけ、自ら人生設計を立てる(Design)ことが「キャリアデザイン」であり、社会の構成員として学生が責任と自覚を持ちながら、その「キャリアデザイン」の実現を目指す助けとなるように、大学が用意する教育プログラムが「キャリア教育」である。

キャリアデザインの進め方とその内容

大学に入学して間もない学生は、大学生活のテーマを見つけることが最も重要である。そのためには、自分自身の強みや興味・関心を知る必要がある。

入学間もない時期に客観的に自分の

能力や興味を把握し、今後の進路目標の設定に役立たせるために、全員に「自己発見診断テスト」を実施している。大学生活において、まずは自分の強みや弱み、職業興味、性格や適性などを知ることはこれから学ぶことには欠かせないことだからである。

また、学生生活や社会で必要とされる能力(学士力、社会人基礎力)について取り上げ、ワークショップや実践を通じ自分の能力に気づき、さらなる開発を目標とするために能力開発講座として、「コミュニケーション能力」「プレゼンテーション能力」「プロデュース力」「チーム力」「問題解決能力」を全学年対象に開講し、好評を得ている。

そして、自分が「やりたいこと」や「できること」をすべて経験することとして、インターンシップを積極的に推奨している。大学在学中に、実際に「働くこと」を体験し、そこから今の自分の能力や社会の仕組みを知り、自分の将来についてのビジョンを描くことも必要である。

本学では、インターンシップをキャリア形成支援の重要な一つと位置づけ、単に行政機関や企業に送り出すだけでなく、ガイダンス、事前研修(マナー、コミュニケーションスキル)、体験報告会(インターンシップの経験から何が学べたか、自分のどんな可能性に気づいたかなどの意見交

換)を実施している。キャリアセンターを通じてインターンシップに参加する者は、年間約350名ほどいる。(学部が単位付与授業として開講しているインターンシップには、約350名が参加している)

このように低学年の早い時期から、多彩なキャリア形成支援プログラムに参加させ、自分自身を知り、目的意識を持つて充実した大学生活を送り、最終的には自分自身が納得し、満足できる進路・就職選びができるように全学支援体制を取っているところである。

今後も学部教育と連携を取りながら、なお一層のキャリア形成支援と就職支援を充実させていきたいと考えているところである。



学生支援型キャリア教育に基づく取り組み

～地域に根差し、実践力のある人材育成を目指して～



● 県立広島大学

県立広島大学
総合教育センター(キャリアセンター)
准教授 松尾 智晶

合同企業懇談会の様子



● 相談体制
3 キャンパスのキャリアセンターそれぞれに、1名のキャリアアドバイザーを配置しています。担当業務は多岐にわたり、就職活動のみならず広く進路に関する相談や、学生自身の将来・進路形成に関する情報提供などに当たっています。平成21年、本格的な就職活動シーズンに突入してからは、面談予約が連日満席という状況もありました。また、専任教員が全学の学生のメール相談等に、随時対応しています。

● 施設と設備
広島キャンパスでは、キャリアセンターのリニューアル工事が完了し、常時4台のパソコンで情報検索ができるようになりました。求人票も1社1ファ

● 学内合同企業懇談会
3 キャンパスを以て、県内を中心に80社の企業にご協力を賜り、広島キャンパス体育館に4ブースをしつらえて、午前、午後に分けた合同企業懇談会を2月に開催しました。庄原キャンパスからはバスで学生を移動させ、合計200名以上が集まりました。参加企業からは「学生が非常に真面目にメモを取り、熱心に質問をする姿が印象的であった」など、嬉しいお言葉を多数いただきました。

1 整備状況の概要

● 各種講座
一般的な就職ガイダンスに加え、公務員志望者のための一般常識講座を実施。遠隔授業システムにより広島キャンパスから他キャンパスにも配信し、多数の受講生がありました。また、庄原キャンパスでは大学院進学希望者向けの書類作成講座を開講。成果が現れ始めています。

● キヤリアイイベント
学生が県内企業を直接訪問し、自らのキャリア形成について考える『キャリアイベント』を実施しました。株式会社アンデックス(尾道市)、オタフクソース株式会社(Wood Block お好み焼館・広島市)、マツタ株式会社(マツダミュージアム・広島市)にご協力を賜り、いずれも各社の事業や製品情報に加えて、社員の方々の就業観、進路選択の際の経験談を率直にお話しくださいました。メモを取る学生の質問にも熱がこもる貴重な機会でした。また、毎年「ワークライフ・バランス」をテーマにしたシンポジウムを開催しています。昨年度は広島キャンパスで開催し、前出のマツタに加え、株式会社広島銀行、デリカウイング株式会社の各社(いずれも広島市)にご協力を賜りました。本年度は庄原キャンパスで開催予定です。

3 キャリア形成支援

● 就職活動支援バスの運行
大阪で行われた就職フェア参加のバスを無料運行しました。参加者は広島で行われるフェアの3倍以上の企業数、10倍以上の学生数に大いに刺激を受け、就職活動を前向きにスタートする契機となりました。その他庄原キャンパスからは岡山、広島市内で開催さ

れた理系学生向け就職フェアにもバスを出し、地理的にやや遠方であるという状況に対する支援を行っています。

● 保健・医療・福祉分野でのキャリアセミナー
保健・医療・福祉の専門職を輩出する三原キャンパス保健福祉学部において、職業人としてのスキルと将来のキャリア形成力を高めるためのセミナーを実施しています。内容はコミュニケーションスキルとチームワークに関する、実践型のワークショップが中心です。参加者からは「患者様だけでなく、職員同士のコミュニケーションが、職場ではとても大事なことが実感できた」「コミュニケーション能力が上がったと思う。実習前に受講できてよかった」などの感想が寄せられました。